

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、平成24年度八潮市一般会計補正予算（第5号）の分割付託1議案、平成25年度八潮市一般会計予算の分割付託1議案、その他の9議案のあわせて11議案の審査を行いました。

平成24年度八潮市一般会計補正予算（第5号）の分割付託の関係では、「小・中学校の就学援助事業の扶助費において生活保護受給者が増えている状況の中で扶助費が減額となっている理由は何か」との質疑に対し、「就学援助費の支給者数が当初見込んでいた人数より少なかったため、予算額と実績額の差額が出たことが主な要因である」との答弁がありました。

また、平成25年度八潮市一般会計予算の分割付託の関係では、「今年度の小中一貫教育の取り組みについて」との質疑に対し、「八條中ブロックの研究発表会を開催したところ、全国又は県内からたくさんの方を観客をいただいた。また、『八潮ベীシツク2』の作成委員会を設置し、応用・活用編を作成した。八潮ベীシツク2の内容としては、入試問題をはじめ、教育長の希望もあり、汗をかくほどの問題を各校の先生に集まってもらい作成し、掲載したところである」との答弁がありました。

議案の審査結果については、11議案全て可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成24年度八潮市一般会計補正予算（第5号）の分割付託1議案、その他の20議案のあわせて21議案審査を行いました。

平成25年度八潮市一般会計予算では、スマートインターチェンジ調査業務委託料について、「どのような調査を予定しているのか」との質疑に対し「スマートインターチェンジの運営管理にかかる経費の概要と費用対効果の検討、採算性などを調査するものである。また、利用者の数については、現在、調査中である」との答弁がありました。

また、「公園等改修工事の内容容は」との質疑に対し「大瀬運動公園のグラウンドは、水はけが悪いので改修していく。また、綾瀬川の遊歩道が暗いので照明灯を設置する。その他の公園の改修についても優先順位を付けて改修していく」との答弁がありました。

八潮市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例については、「このトイレマークの標識は誰に対して表示しているのか。また、設置者は誰で工事費用はいくらか、補助金が出るのか。寸法や色彩について規制があるのか」との質疑に対し「歩行者や車からも見える表示とする。また、道路標識の設置は、道路管理者が行うことになるが、費用については現在のところ

ろ積算していない。なお、補助金については今後、調査していく。色彩については、本条例の規定対象外で変えられないが、文字の寸法などは国の規定に従っていく」との答弁がありました。

議案の審査結果については、21議案全て可決すべきものと決しました。

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、平成24年度八潮市一般会計補正予算（第5号）についての分割付託1議案、平成24年度八潮市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）などの補正予算関係3議案、平成25年度八潮市一般会計予算の分割付託をはじめとする予算関係4議案、その他6議案のあわせて14議案の審査を行いました。

平成25年度八潮市一般会計予算の分割付託の関係では、「楽習館で行われているフリーマーケットが3月で終了するのとこのであるが、継続することはないのか」との質疑に対し、「フリーマーケットは、楽習館の駐車場で実施しており、大変好評であると認識している。今後は、市直営となり、料金の徴収が難しいため、実行委員会等組織して運営するか、別の団体で行うか、現在、調整しているところである」との答弁がありました。

また、平成25年度八潮市後期高齢者医療特別会計予算については、意見として「市内高齢者の保険料負担が大変というような予算です。県は、後期高齢者医療制度に対し、円滑に運営されるように援助する役割があります。2月の連合議会で、埼玉県は、保険料が全国で6位、医療費は一人当たり77万2609円と全国で30番目ということとです。県の財政安定化基金は、年度末で82億円になるといふこととです。県は、基金を取り崩し、保険料の引き下げ等県民の負担を軽減するように意見を述べるべきです。制度そのものが問題である。よって、本議案に反対します」との発言がありました。

議案の審査結果については、14議案全て可決すべきものと決しました。

議会運営委員会

委員会に付託された議案については、請願の処理の経過及び結果の報告に関する条例についてでは、「現状の会議規則の規定により、十分担保でき、所期の目的は達成できるので条例に規定しなくてもよい」との発言がありました。また「確かに会議規則において担保されているが議会の権限を高め、より実効性のあるものとするため条例で定めることが必要である」との発言がありました。

八潮市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

特別委員会関係

■北部特別委員会
2月27日、整備計画等について

については、「住民の意思を反映させる機関が議会であるので、そのためにも、相応の人数は確保しておく必要がある」との発言がありました。また、「議員数を減らすことにより、住民の要望等が聞けなくなることは危惧するところではあるが、議会制度を改善していくことでカバーできると考える。よって行財政改革の一環として、議員数を減らすべきと考える」との発言がありました。

議案の審査結果については、2議案いずれも否決すべきものと決しました。

議案

■議案第45号 八潮市固定資産評価審査委員会委員の選任について

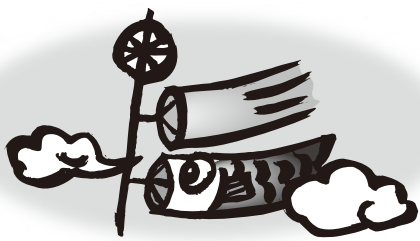
平成25年3月31日をもって任期満了となる八潮市固定資産評価審査委員会委員に、小倉榮子氏（おぐら えいこ、八潮七丁目35番地15）の選任について同意しました。

■議案第46号 人権擁護委員の推薦について

平成25年6月30日をもって任期満了となる人権擁護委員に、昼間悦子氏（ひるま えつこ、大字大曾根480番地）の推薦について同意しました。

編集後記

議会報編集委員会から



市民の皆様には、議会の様子をお知らせする「議会報」も69号になりました。1号は平成9年3月議会です。当時の議長の挨拶は「開かれた議会として市民の知る権利、議会から知らせる義務」とあります。先輩諸氏が築き上げてきた伝統をさらに発展させ、より良いものに合言葉に議会報編集委員が毎号、努力を重ねています。

参考までに一般会計予算が220億円から265億円に、議員定数も28名から22名に、常任委員会数も4から3に、さらに一般質問回数制限の撤廃等、議会改革も進めてまいりました。本年9月には改選があり、市民の皆様には議会に対し、さらなる関心をお寄せ頂ければ幸いです。

（大久保 龍雄）